

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明 澤村誠志
生田義和 杉岡洋一
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 廣谷速人
黒川高秀 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
柿田喜三郎 持田讓治
酒匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

2009年8月30日に行われた第45回衆議院議員総選挙から1カ月半が経過しました。民主党が過半数を大きく上回る議席を獲得し、自民党は1955年(昭和30年)の結党以来、初めて衆議院第一党を失い、歴史的な政権交代が実現しました。今は政権交代にともなう概算要求の見直し作業が行われているところです。各省庁の予算が当初のものを下回るだろうという見込みのなか、厚生労働省関連の予算は当初予算を上回る可能性が高いと予想されています。このことが診療報酬に反映されるのかどうかは結果をみないと断言できませんが、小泉政権以来の社会保障費抑制政策が切り替えられようとしていることは間違いないようです。

今月号の「視座」は、日本大学・徳橋泰明教授の「インターネットと日本整形外科学会診療ガイドラインについて」です。インターネットは現代社会の最も重要なキーワードです。診療ガイドラインが価値を持つようになったのも、インターネットのおかげです。ピア・レビューや研究者の利益相反が重要になってきたこともインターネットと関係があるように思います。

本号の中でも特に、「論述」欄に掲載の論文「腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板摘出術は椎間関節にとって低侵襲であるか?」(新潟中央病院・渡辺 慶先生)は、興味深く読ませていただきました。最近、私は他院で行われた内視鏡下椎間板摘出術(MED)の再手術を経験しました。たしかに皮切は小さいのですが、椎間関節の切除量が従来法よりも大きいような感じで、しかもそのために不安定性を生じて固定術に至ったものでした。多数例に基づいたこの論文を読んで、やっぱりそうだったのかと納得しました。このほかにも、連載「手術部位感染の基本」をはじめとして、貴重な論文が満載です。

すっかり秋らしくなり、勉強しやすい季節となりました。今月も『臨床整形外科』をご愛読ください。

(清水克時)

臨床整形外科 (第44巻第11号)

2009年11月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

[2009 年ぎめ予約購読料 29,400 円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300 円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

- ・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2009, Printed in Japan.
- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

- ・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。